

(議長)

次に出崎議員の発言を許可いたします。

「出崎議員」

はい。

(議長)

出崎議員。

「出崎議員」

初めての質問になります。よろしくお願ひいたします。

早速質問に移ります。

1 番目。降雨量の増大に対する災害防止対策についてお伺ひします。

各地で記録的な大雨が災害を引き起こしております。計画以上の降雨が原因となることが多いのですが、この地域でも想定外の大雨が無いとも限りません。居住地はもちろんのこと、農業地域の田畑を含めた災害防止について、今後の取り組み方針をお伺ひしたいと思ひます。

2 つに分けて質問いたします。

1 つ目。町内の普通河川について。これは町が管理している河川についてなんです。河川の洪水対策は何年確率降雨強度で計画されているのでしょうか。そしてそれを超える場合の対策についても取り組む必要があるかと思ひてはいるんですが、そのようなお考えはありませんでしょうか。

2 つ目。厚沢部川水系についてですが。厚沢部川は北海道管理の 2 級河川であります。渡島総合振興局が作成し、インターネット上に公表されている資料によれば、厚沢部川は、年超過確率 50 分の 1 の降雨氾濫シミュレーションで、それが公表されております。で、それによれば、町内の農地に浸水しないという予測になっております。しかし、その記述の中で、支川についてはその影響、それからの影響ともにですね、シミュレーションから除外して扱っているというような読み取れるような記述もあります。そこで、支川である鱈川での浸水予測について、渡島総合振興局に申し入れて、その結果を提示してもらいたいとおつもりはございませんでしょうか。以上です。

(議長)

町長。

「町長」

出崎議員のご質問にお答えいたします。

近年全国各地におきまして、大雨ことに短時間で集中的に降る、いわゆるゲリラ豪雨等により災害が発生し、甚大な被害が発生していることにつきましては、度々大きく報道されており、町といたしましても承知しているところでございます。

また、8月末に発生いたしました九州北部豪雨におきまして、被災された多くの皆様方に対しましても衷心よりお見舞いを申し上げます。

さて、1つ目の町が管理しております普通河川の降雨強度についてのご質問でございます。議員ご承知のとおり、降雨強度につきましては、河川改修等において、河道断面等を決定するうえで用いられるものでございますが、町内の普通河川におきましては、五勝手川が平成7年の豪雨災害により被災し、その護岸の復旧工事にあたり、10年確率の降雨強度により河道断面の設定を行って整備をしているところでございます。その他の町内の普通河川におきましては、河川改修事業等により改修を実施した実績がないことから、確率年によって降雨強度を算出し、河道断面の設定をしている河川は無い状況となっております。

また、設定した確率年を超える場合の対策についてでございますが、10年確率で設定されております五勝手川につきましては、平成9年の護岸完成から20年以上経過しておりますが、幸い、これまで河川の氾濫による背後地への浸水被害などは一度も確認されていない状況でございます。現状の中ではこれまで通り、降雨時の状況を注視しつつ、日常の維持管理に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解願えればと思います。

2つ目の鰯川の洪水浸水予測範囲についてでございますが、議員おっしゃる通り、厚沢部川の予測範囲については公表されており、函館建設管理部のデータをハザードマップにも反映している一方で、鰯川については作成当時に浸水範囲が示されてなかったことから、反映されていないのが現状でございます。今の鰯川の状況につきましては、鰯川流域における最大の1時間降雨量を106ミリに設定し、簡易的な手法で示した浸水範囲は、函館建設管理部から入手しております。この浸水範囲の対象にある町内会には、図面を提供し、対象地域とともに大雨対策に備えてまいりたいと考えております。

さらに今年度、鰯川には水位計が設置されたことで、リアルタイムに水位の状況や監視が可能となったことに加えて、前段申し上げました簡易的な手法で示された浸水範囲を基に避難勧告、避難指示の発令範囲にも活用できるものでございますので、今後の防災、減災対策につなげてまいりたいと考えております。

「出崎議員」

では、再質問。

(議長)

はい、出崎議員。

「出崎議員」

今、鰯川についてもシミュレーションの結果があるというようなお話で、今後、そういうものも関係町内会に周知していくようなことを考えているというふうにお伺いいたしました。これから、町民のですね、安全安心に住むためにも、そういうものを公表しながら注意喚起をしていくというのは、重要なことだと思います。ぜひその、公表して町内会の方にも伝えて頂ければと思います。

次、2番目の質問したいと思いますがいいでしょうか。

(議長)

今の答弁、それでいいんですか。

2番目の質問しますか。

「出崎議員」

はい。

(議長)

2回目ですよ。

今の答弁必要ですか。

「出崎議員」

いや。

(議長)

必要でない。

「出崎議員」

いや、公表するというふうに町長からの返答がありましたので、それで結構です。

(議長)

はい、分かった。

そしたら、2番目の質問からお願いします。

「出崎議員」

2番目の質問なんですが、現在町で進行中の各種計画、この整合性についてお伺いしたいと思います。

6次の、江差町総合計画の策定。それから都市計画マスタープラン及び立地適正化計画

策定。それと先ほど室井議員からの質問もありました、北の江の島構想。これらの計画がですね、今、個別に、別々に行われて、これをどういうふうな形で整合性を取るのかなというのが、私の疑問点でありました。で、これらの、ちょっと関連のスケジュール。相互の関係についてもう少し詳しく教えて頂ければと思います。

(議長)

はい、町長。

「町長」

出崎議員の2問目にお答えいたします。

2020年度からスタートする第6次江差町総合計画をはじめとした各種の計画の整合性について、出崎議員から大きく2点に渡ってのご質問となります。

始めに各種計画の関連スケジュールでございますが、現在、年内を目途に、各種の計画の素案をお示すべく、鋭意策定作業を進めております。

また、北の江の島構想につきましては、これらの計画策定段階を踏まえ、年度内に全体像を示してまいりたいと考えております。

次に総合計画をはじめとする各種計画との整合性についてでございますが、室井議員の一般質問にお答えしておりますとおり、本年の第2回定例議会にて議決頂いた、江差町総合計画策定条例第6条の規定に基づき、個別あるいは分野別の各種計画との整合性を図るべく、現在、調整作業を進める準備をしているところであり、これらの整理と財政協議等を踏まえ、各種の計画の素案を示す予定となっております。

また、各種の計画策定段階において、議会とも十分意見交換を行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解願えればと思います。

「出崎議員」

はい、再質問。

(議長)

はい、出崎議員。

「出崎議員」

今、北の江の島構想は今年度、それから都市マスとか総合計画については年内というようなお話があったかと思えますけれども。あと3ヶ月とか6ヶ月でこれらの整合性、整合を取る。かなりハードなスケジュールじゃないかなと思います。これらの指針は10年とか20年先の町の方向性を示すようなサイクルだと、計画だというふうに思っておりますが、その辺について、かなり鋭意努力しないと詰まっていけないんじゃないかと思うんで

すが、その辺の懸念について、お伺いできればと思います。

「まちづくり推進課長」

まちづくり推進課長。

(議長)

まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

今、各種計画と総合計画の整合性と、これからタイトな期間でどのような段取りで進めていくのかなというような主旨のご質問だと思います。

それで、議員ご指摘の通り、都市マスについては、約20年間のスパンでの計画となります。そして、総合計画は10年。もう一つは総合戦略というものが2020年から新たに第2期スタートしますが、これは5年間ということで。町づくりの体系ということで、短期中期長期といったスパンなんだろうなと思ってます。ただ、最上位にあるのは総合計画でありまして、今現在、都市計画マスタープランにつきましては、建設水道課の方で策定委員会を組織して作業を進めています。で、私どもまちづくり推進課の方では総合計画と総合戦略を一体的に策定するというところで審議会をやってます。9月以降のスケジュールにおいてですね、それぞれの計画の素案段階で、少し整合性を図っていききたいなと思ってます。それを踏まえて、またそれぞれの策定委員会、審議会で揉んで、議会の皆さんと2回ほどキャッチボールをして、12月には一定程度ですね、整合をとれたものを整理していききたいなと思っておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

いいですか。

「出崎議員」

ありがとうございました。以上で質問を終わります。

(議長)

はい。以上で出崎議員の一般質問を終わります。